



脳神経内科における 内科研修プログラムの魅力

清野 翔太 脳神経内科 病院助手
2020年3月 弘前大学卒
内科専門研修プログラム 2022年度開始

私は初期研修修了後、専門研修として弘前大学内科研修プログラム（脳神経内科領域）を選択しました。

大学病院ではギラン・バレー症候群や脳炎・髄膜炎など集中治療を要する疾患を診ながら、難病の精査など診断を付ける必要がある患者さんも県内外から沢山受け入れています。特に難病診療は内科専門研修において、一度は経験していただきたいと考えています。

診断にあたり教科書や論文を渉猟するわけですが、そうしてようやく辿り着いた診断名をどのように告知するのか、そしてどのように関わるべきか、ここが永遠のテーマのように感じています。難病で治療法がなく進行するのを看ていくしかない患者さんには、“治療する”以外の役目を探し、それを果たそうとするのが医師として望ましい姿であると感じています。時には出来ないこともあるので、線引きも必要となります。このように神経難病の診療は複雑な問題も包含し得るため、普段から指導医と綿密に相談しながら診療にあたっています。

そういったサポート体制が整っていること、尊敬できる先生方の下で仕事ができること、沢山の症例が経験できること、研究と並行出来ること、などが大学病院で専門研修を行う最大の強みであると考えています。興味がありましたらぜひ一度見学にいらしてください。